

ちゅういっぷだより



ご入園おめでとうございます



令和4年4月28日
川口市立舟戸幼稚園
年少ちゅうりっぷ組

ちゅうりっぷ組男児6名、女児3名、計9名の幼稚園生活がスタートしました。初めての集団生活で緊張や不安が見られた子供たちも、幼稚園での遊びや生活の様子が分かってくると、徐々に自分の好きな遊びを見つけて笑顔で取り組むようになってきました。

「幼稚園って楽しいね!」という気持ちと、「明日も幼稚園に行きたい!」という期待をもって園生活を送れるように、保護者の皆様と力を合わせ、精一杯がんばっていきたいと思っています。一年間、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今日は何をして遊ぼうかな?



登園後、自分のかばんや帽子をロッカーに掛けると、早速好きな遊びを見つけて、ままごとで遊んだり、ソフト積み木で家やお城をつくったり、ブロックで車の道路をつくり、トミカを走らせたりしています。

ままごとコーナーでは、ごちそうをつくって「おいしいよ。食べてみて。」とパーティーが始まりました。「ケーキあるね。」「これは、ハンバーグです。」とお皿に盛られた食べ物を楽しそうに一緒に食べたり、ブロックで遊んでいる友達の所においしいごちそうを届けに行ったりしています。そばにいる友達の存在を感じながら、一緒の場で遊ぶことを楽しいと思えるように援助していききたいと思います。今週は、こいのぼり作りも行いました。友達がこいのぼりを作っていると、「ぼくもつくりたい。」「私はピンク色ね。」と、こいのぼり作りの場にたくさんお友達が集まってきました。友達のしていることに少しずつ興味をもち、「何してるんだろう?僕も(私も)やりたい。」という子が増えてきました。そのような時には、友達のそばで同じことを楽しめるように遊具を手渡したり、「〇〇くんの次にやろうね。」と仲介したりしながら、友達と関わることで遊びが楽しくなる経験を積み重ねられるように援助しています。

これからは遊びの場もますます広がっていきます。園庭の砂場や滑り台、ボールなど、戸外の遊具で遊ぶことを楽しみにしています。これからどんなふうに遊びが広がっていくのか、私も楽しみにしています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『協同性』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

自分でできるよ!

「おはようございます!」という元気な挨拶のあと、かばんや園帽を自分のロッカーに置き、コップやタオルを決まったところにかけてから遊び始めます。一つ一つが習慣として身に付くように「ここにかけようね。」「帽子は赤ちゃんゴム(小さいゴム)でかけようね。」「かばんのチャックは閉めておこうね。」などと、丁寧に話をするようにしています。初めは「先生やって」「どうやるの?」と言っていた子供たちも、何日かすると「自分でできたよ。」と嬉しそうに教えてくれるようになりました。

遊んだ後は、教師と一緒にお片づけを済ませると、紙芝居や手遊びなど楽しい時間が待っています。ピアノに合わせて歩いたり、曲に合わせてリズムをしたり「手をたたきましょう。」や「グーチョキパーでなにつくろう。」などの手遊びをしたりしています。紙芝居はみんな大好きで、「今日はどんなお話かな?」と心待ちにしています。クラスの間など過ごす時間も楽しいと思えるように配慮しています。

持ち物の始末や身支度、手洗いや排泄、片付けなど生活に必要なことは、「自分でやろう!」という意欲と、「できた!」という喜びを大切にしながら、丁寧に取り組めるように援助していききたいと思います。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『自立心』『道徳性・規範意識の芽生え』につながる姿が見られます。

5月は次のようなねらいをもって進めていきます

- 好きな遊びや安心する場所を見つけ、先生や友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
- 戸外で体を動かして遊ぶ気持ちよさを感じる。
- 身近な自然に親しみをもち、見たり触れたりして遊ぶことを楽しむ。
- 園生活の流れを感じ、先生と一緒に身の回りのことを自分でしようとする。

